

か かつようそくしん はないくたいけん とりくみ
花きの活用促進のための花育体験の取組

とよはししりつ とくべつしえんがっこうこうとうぶ
豊橋市立くすのき特別支援学校高等部の

れいわ 4 ねん 10 がつ 12 がつ はないくたいけんきろく
令和4年10月~12月にわたる花育体験記録

ようらん さかせてかんしゃ きもち つたえよう
洋らんを咲かせて感謝の気持ちを伝えよう！



じゃばん とよはししか えんげいしんこうきょうぎかいようらんぶかい
はなわくJAPAN (豊橋市花き園芸振興協議会洋らん部会)

とよはししさんぎょうぶのうきょうきかくか
豊橋市産業部農業企画課

じぎょうおよび 事業及び	じゃばんふらわーきょうかぶろじえくとすいしんじぎょう ジャパンフラワー強化プロジェクト推進事業
めにゅー メニュー	か かつようそくしん はなくたいけん えんげいたいけん 花きの活用促進のための花育体験、園芸体験
とりくみめいしゅう 取組名称	こども いく ぶろじえくと 子ども「らん育」プロジェクト
もくてき 目的	せいと きょういく げんば ちいき せいざん はな みどり ふれそだてる 生徒が教育の現場において地域で生産されている花や緑に触れ育てる きかい つかい かいか いちれん さいばいかつどう つうじて 生命 どうとき じっかん 機会をつくり、開花までの一連の栽培活動を通じて、生命の尊さを実感して もらいつつ、「やさしさや美しさ」を感じる気持ちを醸成。
とりくみないよう 取組内容	はなわく JAPAN (豊橋市花き園芸振興協議会の洋らん部会) が豊橋 しりつ とくべつしえんがっこう で むき はなくきょうしつ ぜん3かい じっし 市立くすのき特別支援学校に出向き、花育教室 (全3回) を実施

はなめつき こちょうらん なえ こうとうふせいひとり ていきょう やく3かげつかん 10がつ
花芽付きのコチョウランの苗を高等部生徒一人ひとりに提供し、約3か月間 (10月

しよじゆん 12がつしよじゆん みず ていねい かんり はな そだて さかせる たいけん
初旬~12月初旬)、水やりなど丁寧に管理をしつつ花を育て、咲かせることを体験。

【第1回：10月6日】

はなわく JAPAN (豊橋市花き園芸振興協議会洋
らん部会) の伊藤さんと北谷さんが講師です。

さあ、今日からスタート! 感謝の気持ちを
伝えるため、洋らんを咲かせよう。



とよはし ようらんせいざん にほんいち しってた?
豊橋の洋ラン生産は日本一、知ってた?

みず 1しゅうかん 1かい
水やりは1週間に1回でよいみたいです。



【第2回：11月10日】

講師の伊藤さん、北谷さんからは、「花の健康チェック、キズはないでしょうか？」

「花芽や根をよけて、鉢に支柱をさします、そしてピンチで茎を支柱に留めて！」

と丁寧に教えていただきました。さあ、もう少しで花が咲きます（咲き始めた花もあるよ
うです）、それまでしっかりと世話をしてください。

2回目の花育授業、よろしくお願いします。



コチョウラン大輪の根っこ、ここに水分を貯めています。



クイズです！これは洋ラン？でしょうか。答えは○、洋ランの種類で、シンビジウムといいます。



感謝の気持ちを伝えるために、贈る人をおもい浮かべて鉢に絵を描きました。



高等部 花育プロジェクト



11月10日(木)に高等部3年生で2回目の花育プロジェクトが行われました。1回目の花育プロジェクトでは、「はなわくJAPAN」の伊藤さんと北谷さんから豊橋の特産品である蘭のことや育て方について教えていただき、いろいろな品種の苗から自分の好みの蘭を選び、1か月間水やりをしてきました。今回は、蘭の鉢カバーにペンやシールなどでデコレーションをしました。丁寧にイラストを描く生徒やシールを夢中で貼る生徒などそれぞれに素敵な鉢カバーにアレンジできました。さらに、管理方法のアドバイスや、クイズなどがあり、楽しみながら蘭について学ぶことができました。

【第3回：12月8日】

こちょうらんがさいたら、ひごろの感謝を込めて大切な人（保護者、家族）へプレゼント、花への関心を深めるとともに親しみを感じてもらうことで、こちょうらんを含め花きの需要拡大への契機とします。

きょうさいしゅうかい かぞく ほな おくる
今日が最終回。家族に花を贈る
めっせーじカードをつくります。
メッセージカードを作ります。



めっせーじカードには感謝の気持ちを込めて！



ラッピングもじょうずにできたよ。さあ、家に帰ったら、大事に育てた「らん」をプレゼント！



3か月の間、みんなで心をこめて大事に「らん」を育てました！完成です！



はないくたいけん
【花育体験アンケート】

はないくたいけんしゅうりょうご とうとうぶせいと みなさん ほごしゃ ほう あんけーと こたえて
花育体験終了後、高等部生徒の皆さんと保護者の方にアンケートに答えてもらいました。

【高等部生徒】

※33名の生徒中、回答者数25名

Q1. 「らん」の花育体験は楽しかったですか？	<input type="checkbox"/> 楽しかった	<input type="checkbox"/> 楽しくなかった	<input type="checkbox"/> わからない			計
	23人		2人			25人
	92.0%	0.0%	8.0%			100.0%
Q2. 今回の花育体験で、どんな気持ちになりましたか？	<input type="checkbox"/> 元気になった	<input type="checkbox"/> 楽しかった	<input type="checkbox"/> 明るい気持ちになった	<input type="checkbox"/> わからない		計
	3人	17人	3人	2人		25人
	12.0%	68.0%	12.0%	8.0%		100.0%
Q3. 「らん」の花を家族に贈ったとき、家族は何と言って受け取ってくれましたか？	<input type="checkbox"/> うれしい	<input type="checkbox"/> ありがとう	<input type="checkbox"/> きれいだね	<input type="checkbox"/> 上手に育てたね	<input type="checkbox"/> その他	計
	3人	16人	5人		1人	25人
	12.0%	64.0%	20.0%		4.0%	100.0%
Q4. またやりたいですか？	<input type="checkbox"/> やりた	<input type="checkbox"/> やりたくない	<input type="checkbox"/> わからない			計
	19人		6人			25人
	76.0%	0.0%	24.0%			100.0%
Q5. 「らん」など植物を育てる仕事をしてみたいですか？	<input type="checkbox"/> してみたい	<input type="checkbox"/> したくない	<input type="checkbox"/> わからない			計
	6人	人	19人			25人
	24.0%	%	76.0%			100.0%

アンケート結果分析

○花育体験は殆どの生徒が楽しかったと回答 (92.0%)。

花生体験を通して「元気になった (12.0%)」「楽しかった (68.0%)」「明るい気持ちになった (12.0%)」と回答しており、花 (植物) が生徒に与える精神的影響が大きいことが感じられます。

○今回の花育体験を契機に殆どの児童がまた、「やりたい (76.0%)」と回答、また植物を育てる仕事をしてみたいと回答 (24.0%) した生徒もおり、将来の進路の選択肢の一つとしての機会となったことが感じ取れます。

【保護者】

Q1. 花育体験後、ご家庭で花や緑に対する心の変化がありましたか？（複数回答も可）	□花や緑が身近にあると癒しや、部屋の雰囲気が明るくなったと感じる。	□アレンジや生け花を始めたと思う。（「始めた」・「増えた」）	□ガーデニングを始めたい。（「始めた」・「増えた」）	□生花店や園芸店に行く機会を増やしたい。（「増えた」）	□お祝いなどの贈り物に花や緑を使いたい。（「使った」・「もっと使いたい」）	□これまでと、あまり変わらない。	計
	15人	人	2人	5人	4人	2人	28人
	53.6%	%	7.1%	17.9%	14.3%	7.1%	100.0%
Q2. 花育体験の前と後で、ご家庭ではどれくらいの花や緑を購入していますか？	花き購入者数（購入頻度）	花育体験前		花育体験後 （花育体験終了2か月後）			
		5人（1～3回程度／月）		6人（1～5回程度／月）			
<p>アンケート結果分析</p> <p>○花育体験後の心の変化では「癒しや、部屋の雰囲気が明るくなったと感じる。」と回答した保護者が最も多く、花・緑に対する関心が深まった状況がみられます。</p> <p>○花育体験前後の購入状況では、全体平均では購入者数、月当たりの購入回数が共に伸びており、花育体験を契機として花きの購買に繋がったと考えられ、一定の効果は見られたと思われま</p>							

